

技術情報シート

1. 技術の名称	廃プラスチック選別装置(プラセンエース)
2. 技術の内容	選別装置 重プラスチックと軽プラスチックの選別
3. 技術の概要	技術の目的・用途、技術の特長、実績、価格 【技術の目的・用途】ダイオキシンの発生原因になる塩素を含む塩化ビニール等の比重が大きいプラスチックを各種プラスチックの混合品から除去することが可能です。 【技術の特長】遠心力を使う事により比重の大きい重プラスチック(PS,PVC,PET)と比重の軽い軽プラスチック(PP,PE)を分けることが出来ます。分離された軽プラスチックはリサイクルされ、重プラスチックは固形燃料(RPF)や高炉還元剤等として使用可能となります。 【代表的な形式・仕様】 形式:TRH074R 型 処理能力:1ton/h(重プラ:10%、軽プラ:90%) 処理対象物:廃プラスチック 動力:駆動機(132kw) 差動機(15kw) 【実績】日本国内に 13 台 【価格又はその問合せ先】 窓口:産業機械営業部営業課 担当:大森
4. 技術の分類	
①用途分類	都市ごみ処理、産業系廃棄物処理、その他環境保護技術
②対象廃棄物	廃プラスチック
③提供役務	プラント建設
5. 本技術に関するサービス提供が可能な国	制限なし
6. 検索キーワード	廃プラスチック
7. 問合せ窓口・担当者	巴工業 株式会社 窓口:産業機械営業部営業課 担当:大森